

目白大学大学院国際交流研究科国際交流専攻

2019年度 入学試験問題（小論文）

（一般入試第Ⅲ期）

試験時間：10時00分～11時30分（90分）

注意事項

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 5問のうち2問を選択して解答してください。
3. 設問ごとに別の解答用紙を使ってください。
4. 解答用紙の所定の欄に、選択した設問の番号、受験番号、氏名、フリガナを記入してください。
5. 「メモ欄」は下書き等自由に使用してください。
6. 試験時間が終了するまで途中退出は認めません。

目白大学大学院

2019年2月23日（土）実施

小論文問題

以下の設問（１）～（５）の中から２問を選択し、それぞれ別の解答用紙を使って解答しなさい。なお、解答にあたっては、選択した問題番号を明記しなさい。

- （１）プラスチックごみによる海洋汚染が世界的な問題になっている。海に流れ出たプラスチックごみが、紫外線などで劣化して細かく砕けた粒「マイクロプラスチック」が、海の生態系に深刻な影響を及ぼすとして対策が求められている。日本の１人あたりの使い捨てプラスチックごみの発生量は世界第２位。プラスチックごみをどのように減らすか。あなたの考えを述べなさい。
- （２）日本の妖怪マンガの作者として有名な水木しげる（1922～2015年）は、その著書『鬼太郎の天国と地獄』の中で、「地獄は国によって様々な世界観があるが、天国についてはだいたいどの国でも似たような世界観が示されている」と述べている。その理由について論じなさい。
- （３）海外の人々に、日本らしい文化を伝えるとき、あなたならどのような文化事象を選びますか。選んだ対象がなぜ日本らしいのか理由を述べるとともに、どのような方法で伝えたいか、あなたの考えを述べなさい。
- （４）日本は地位の非一貫性が比較的大きい社会であると言われている。実際、たとえば社会的地位の高い人であっても、収入や資産がさほど多くないといったことは珍しくない。この背景にはどのような価値観が存在すると考えられるか。あなたの考えを述べなさい。
- （５）2008年度から始まった、いわゆる「ふるさと納税」制度は、自分が居住している市町村以外の自治体に寄付をすると、所得税等が控除されるというものである。都会へ出て行った人々が故郷の自治体を支援する制度として注目されているが、寄付を受けた自治体が出す返礼品について様々な問題が発生している。この制度の運用について論じなさい。

【メモ欄】